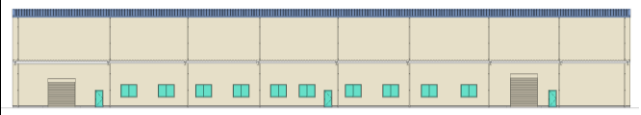


CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ダイセン・メンブレン・システムズ(株)	階数	地上2F
建設地	兵庫県姫路市網干区新在家字衣掛	構造	S造
用途地域	工業専用地域, 工業地域, 準工業地域	平均居住人員	25 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,400 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2026年3月5日
敷地面積	788,018 m ²	作成者	石原設計工房
建築面積	1,960 m ²	確認日	2026年3月5日
延床面積	2,150 m ²	確認者	石原設計工房



図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 85%
③上記+②以外の 85%
④上記+ 85%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項	
総合 建物が周囲の自然環境と調和し、居住者の健康や快適性を最大化しつつ、環境負荷を最小限に抑えた。	その他 0
Q1 室内環境 JIS/JAS規格の「F☆☆☆☆」建材の採用によるホルムアルデヒド等の削減した。	Q2 サービス性能 機能性を重視したレイアウトを計画し、高天井を採用し空間にゆとりを設けた。
LR1 エネルギー 高効率な機器を選定し、少ないエネルギーで高い性能を出した。	LR2 資源・マテリアル コンクリートの設計基準強度を高く設定し、中性化抑制に配慮することで、建物全体の長寿命化による資源の節約を実現した。
	LR3 敷地外環境 敷地周辺の住宅地域と建物の距離を取ることで、騒音・振動等が及ばないようにした。
	Q3 室外環境 (敷地内) 建物周辺に広い通路を設置し車と人の流れを分別する事により危険を減らした

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される